

1. 科目名 (単位数)	音楽実践演習Ⅱ (2単位)		3. 科目番号	SJMP2145										
2. 授業担当教員	赤塚 太郎													
4. 授業形態	演習、講義、実技		5. 開講学期	秋期										
6. 履修条件・他科目との関係	「音楽」「音楽実践演習」「音楽Ⅱ」を履修していること。													
7. 講義概要	「音楽実践演習Ⅱ」では「音楽Ⅱ」で学んだことを実践する力をさらに高めるための演習を行う。リズム活動で使用される楽曲の演奏や動きに合わせて即興的に演奏する方法を実践的に学ぶ。わらべうたに関する理解を深め、歌い遊べるわらべうたのレパートリーを増やす。リズム楽器をはじめとする、保育活動で使用される楽器の正しい奏法、扱いに習熟し、子どもの歌や楽曲を楽器で楽しむ方法を学ぶ。弾き歌いの演奏技術に関しては継続的に演奏力を磨く。手遊び歌のレパートリーを増やし手遊び歌はわらべうた同様、正しい音程で歌えるように演習を重ねる。													
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. リズム活動のためのピアノ演奏ができ、自身も音楽に合わせてリズムカルに動ける。 2. 保育活動で使われる楽器に関する正しい知識を持つ。楽器遊びや合奏にアレンジできる力をつける。 3. 手遊び歌、わらべうたのレパートリーを増やし、正しく歌い遊ぶことができる。 4. 弾き歌いの演奏技術を高める。 													
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コード奏に関する記譜の課題があります。提出期限を守って、取り組みましょう。 ・授業内で扱う内容 (リズム譜、手遊び歌、子どもの歌の歴史、記譜等) を、よく復習しましょう。 ・1曲でも多く弾き歌いできるように、練習を積み重ねましょう。 													
10. 教科書・参考書・教材	<p>教科書は以下の3冊を用意してください。その他に必要な資料はその都度配布します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杉原由利子、赤塚太郎 編著『新しい音楽のおさらい 日本のわらべうたと、ヨーロッパの音と、世界の音と』共同音楽出版社、2022。 ・岡村弘、二宮紀子、杉原由利子 編著『これだけは歌って弾こう 子どもの歌 厳選50曲』共同音楽出版社、2017。 ・全音楽譜出版社出版部『標準バイエルピアノ教則本』全音楽譜出版社。 													
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. リズム活動のためのピアノ演奏ができ、自身も音楽に合わせてリズムカルに動けるか。 2. 保育活動で使われる楽器に関する正しい知識を持ち、楽器遊びや合奏にアレンジできるか。 3. 手遊び歌、わらべうたを正しく歌い遊ぶことができるか。 4. 弾き歌いの演奏技術を高められたか。 <p>○評定の方法</p> <p>以下の点を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. リズム活動のためのピアノ演奏と動きの発表</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>2. 保育活動で使われる楽器を使った楽器遊びや合奏の発表</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>3. 手遊び歌、わらべうたの発表</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>4. 弾き歌いの発表</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>5. 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)</td> <td>総合点の20%</td> </tr> </table> <p>上記のほか、本学規定に定められている3/4以上の出席を単位認定の条件としている。</p>				1. リズム活動のためのピアノ演奏と動きの発表	総合点の20%	2. 保育活動で使われる楽器を使った楽器遊びや合奏の発表	総合点の20%	3. 手遊び歌、わらべうたの発表	総合点の20%	4. 弾き歌いの発表	総合点の20%	5. 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)	総合点の20%
1. リズム活動のためのピアノ演奏と動きの発表	総合点の20%													
2. 保育活動で使われる楽器を使った楽器遊びや合奏の発表	総合点の20%													
3. 手遊び歌、わらべうたの発表	総合点の20%													
4. 弾き歌いの発表	総合点の20%													
5. 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)	総合点の20%													
12. 受講生へのメッセージ	この授業では「音楽Ⅱ」で学んだことを踏まえ、さらなるレベルアップを図ります。具体的にはピアノや弾き歌いのほかに、リズム活動、手遊び歌、わらべうた、楽器遊び、合奏を取り入れ、保育園・幼稚園の現場での実践を念頭においています。ピアノ演奏や歌唱は「技術の習得」であり、毎日の積み重ねが大切です。この科目が必修科目である意味を自身で考え、自らが主体的・能動的に探究していくみなさんの姿に期待しています。なお、本学の規定により3/4以上の出席を原則とし、遅刻や遅延については、累積回数が多いとそれらを認めない場合もあるので、注意してください。													
13. オフィスアワー	授業中に通知します。													
14. 授業展開及び授業内容														
講義日程	授業内容	学習課題												
第1回	オリエンテーション、シラバス説明、授業概要、経験値に応じた課題曲選曲、音楽理論の理解度を確認	事前学習	「音楽Ⅱ」で学んだことを復習する。											
		事後学習	音楽理論の復習課題及び課題曲を練習する。											
第2回	子どもの歌① リズム譜① 記譜及び実技① 音楽理論の復習①音名・階名・音符・休符 次回までの課題の説明	事前学習	課題曲に取り組む。											
		事後学習	音名と階名の違いをよく確認する。特に、英米式音名についてはきちんと理解し、覚えること。											
第3回	子どもの歌② リズム譜② 記譜及び実技② 音楽理論の復習②音程 (音の幅)、三和音の基本形と転回形 次回までの課題の説明	事前学習	課題曲を練習する。											
		事後学習	音程や三和音について疑問点がないか、確認する。											
第4回	子どもの歌③ リズム譜③ 記譜及び実技③ 音楽理論の復習③長三和音 (メジャーコード) 次回までの課題の説明	事前学習	各自の課題曲に取り組む。											
		事後学習	長三和音 (メジャーコード) の構造の復習。											

第5回	子どもの歌④ リズム譜④ 記譜及び実技④ 音楽理論の復習④短三和音（マイナーコード） 次回までの課題の説明	事前学習	短三和音（マイナーコード）が使われている曲を例に挙げ、和音がどのような構造になっているかを考える。
		事後学習	短三和音の構造の復習。
第6回	リズム活動①手や体の動きをともなう表現と音 子どもの歌⑤ リズム譜⑤ 記譜及び実技⑤ 音楽理論の復習⑤コードネーム、コード奏 次回までの課題の説明	事前学習	コードネームについてその仕組み、使い方を考える。
		事後学習	コードネームの課題に取り組む。
第7回	リズム活動②手や体の動きをともなう表現と音の続き 子どもの歌⑥ リズム譜⑥ 記譜及び実技⑥ 音楽理論の復習⑥七の和音（セブンスコード） 次回までの課題の説明	事前学習	七の和音（セブンスコード）についてその仕組みを考える。
		事後学習	和音・コードネームの総復習、課題曲の練習。
第8回	手遊び歌・わらべうた（グループ活動） 子どもの歌⑦ リズム譜⑦ 記譜及び実技⑦ 音楽理論の復習⑦コードネームの総復習 次回までの課題の説明	事前学習	教科書等を参考にし、手遊び歌やわらべうたを出来るだけ多く例に挙げられるように準備する。
		事後学習	コードネームについて疑問点がないか、確認する。
第9回	手遊び歌・わらべうたの発表 子どもの歌⑧ リズム譜⑧ 記譜及び実技⑧ 音楽理論の復習⑧伴奏形の変化 次回までの課題の説明	事前学習	発表に備える。
		事後学習	伴奏形に着目して、課題曲に取り組む。
第10回	子どもの歌⑨ リズム譜⑨ 記譜及び実技⑨ 他の楽器に触れる① 音楽理論の復習⑨音階 次回までの課題の説明	事前学習	保育所・幼稚園で使われている楽器を調べる。
		事後学習	各楽器の取り扱い方法を確認する。
第11回	子どもの歌⑩ リズム譜⑩ 記譜及び実技⑩ 他の楽器に触れる② 音楽理論の復習⑩調号、＃・♭のつく調 次回までの課題の説明	事前学習	記譜課題に取り組む。
		事後学習	課題曲を練習する。
第12回	子どもの歌⑪ リズム譜⑪ 記譜及び実技⑪ 音楽理論⑪総復習 次回までの課題の説明	事前学習	音楽理論で疑問点・不明点がないか、見直しておく。
		事後学習	課題曲を練習する。
第13回	子どもの歌⑫ リズム譜⑫ 記譜及び実技⑫ 音楽理論⑫「総復習」答え合わせ・解説	事前学習	音楽理論の総復習課題を完成させる。
		事後学習	授業で扱った子どもの歌について、内容を整理し、理解を深める。
第14回	子どもの歌⑬ リズム譜⑬ 記譜及び実技⑬ 筆記テスト及び実技の発表①	事前学習	実技の課題曲を練習する。
		事後学習	発表後のおさらい。次回発表の準備。
第15回	筆記テスト及び実技の発表②	事前学習	発表に備える。
		事後学習	学期中に学習したことを復習する。